

二本松市教育委員会会議録

令和6年7月25日午後3時00分二本松市教育委員会定例会議を二本松市役所教育委員会室に招集した。

○会議に出席した委員は次のとおりである。（発言内容を簡略化）

教 育 長	渡 辺 惣 吾
教育長職務代理者	佐 藤 英 之
教 育 委 員	関 奈央子
教 育 委 員	関 健 至
教 育 委 員	太 田 左恵子

○会議に説明のため出席した職員は次のとおりである。

教 育 部 長	大 内 真 利
教育総務課長	佐 藤 隆 嘉
学校教育課長	長 澤 潤
生涯学習課長	関 博
文化課長	本 田 俊 広

○教育長（渡辺） ただいまから令和6年二本松市教育委員会7月定例会を開会いたします。

（宣言 午後3時00分）

○教育長（渡辺） これより会議に入ります。

教育長、委員の出席状況を報告します。現在の出席者は5名全員であります。会議の定足数に達しておりますので、本会議は成立いたします。

次に「2 会議日程の決定」ですが、会議が終了するまでといたします。

続きまして「3 会議録署名人の決定」ですが、佐藤英之教育長職務代理者と太田左恵子委員の2名を指名いたします。

つづきまして、「4 前回会議録朗読承認」について事務局より説明をお願いします。

（事務局より、令和6年6月27日の定例会の会議録を朗読）

（前回定例会において質問があり、資料が無く報告を保留していた令和5年度岩代ロードレース大会結果について報告）

○教育長（渡辺） ただいま事務局より会議録の朗読がありましたが、これについて皆様からご質問等ありますか。

（「特になし」の声あり）

○教育長（渡辺） それではただいまの会議録については承認することによろしいですか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（渡辺） ただいまの会議録についてはご承認いただきました。

本日の定例会は教育長報告 8 件、議案 3 件、協議事項 1 件を予定しております。それでは「5 教育長報告」に入ります。「1 二本松市教育事務点検評価検証委員会の開催について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 事務局からの報告が終わりました。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（渡辺） つづきまして「2 学校の適正規模・適正配置答申内容地域説明会の開催結果について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 事務局からの説明が終わりました。皆様から質問、ご意見等あればお願いいたします。

○佐藤英之教育長職務代理者 2 回参加し、特に岩代地域は参加者が多く、色々な意見が出ました。二本松地域については、少人数なら少人数でどう教育効果を上げていくかに取り組んできて成果を残してきたということがひとつ、岩代地域で再編成の話がありましたが、以前、岩代中学校ができたときも「10 年するとまた統合しなくてはならないのでは」という意見は地域の人もずっと思ってきたことなので、わかりきっていることなので、今の子どもたちの学習環境を整えるためには、今できることを早急に行う、ということが大事なのでは、と感じました。

○教育長（渡辺） 職務代理者には 2 回参加いただき、いま、ご意見もいただきましたので、いただいた内容を考えながら進めていければと思います。

他に皆さんからいただけますか。

○太田左恵子委員 次回、市がどのような回答を行ったか、資料をいただければと思います。

○教育長（渡辺） 次回、市の回答についても記載した資料を準備いたします。

6 回 6 週間にわたり地域説明会を行って来ました。説明会でいただいた貴重なご意見を踏まえながら、答申は大事なところを踏まえておりますので、答申を尊重し、委員会でいただいたご意見を踏まえながら、市長へ案を提出し、最終的には市長が判断を下す、という流れで進めたいと思います。また委員の皆様にはご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、つづきまして「3 令和 6 年度二本松市内小中学校視察実施報告について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 事務局からの説明が終わりました。皆様から視察について感

想をいただければと思います。

○**関健至委員** 7月3日に油井小に行きました。児童が多い中でダブルティーチャーの中での算数の授業を視察しました。ちょっとついていけない子には補助の先生が教えており、いい雰囲気だったということと、校長先生から、点数だけではなく勉強する意欲を高めたい、自分が進んで学ぶ意欲を持ってもらえるような授業作り、学校づくりをしているという話を伺い、素晴らしいと感じました。また、人数が多く駐車場が無いという悩み、運動会の際も車で来ないよう保護者に伝えている、そういう話も聞けたので良い視察だったと思います。

○**佐藤英之教育長職務代理者** 一中を不登校関係として視察いたしました。特に加配があるわけではないが、SSR（スペシャルサポートルーム）について取り組んでいる様子を報告いただきましたが、校長先生もよく子どもたちのことを理解していて、学年主任・副担任も出席や子どもたちの様子を、お互いに連絡を取って把握する等、組織として取り組んでいることを感じました。SSRについては、生活相談員が時間をやりくりして参加しておりますが、中には介助員が参加することもあると聞き、大変な中取り組んでいて、子どもたちの表情も変わってきたと報告を聞いて、大変素晴らしいと感じ、学校全体で取り組んでいることに感心しました。担任と保護者の会話や子どもがどのような発言をしたかということまで、先生方が見て子どもたちに接しているということを感じて見ました。SSRの子どもの様子ですが、子どもたちの様子を見学して大丈夫か聞いたところ、大丈夫です、見てください、と言ってもらえたので、雰囲気が良いと感じた。

○**関奈央子委員** 子どもは何人くらい利用していたのですか。

○**佐藤英之教育長職務代理者** この日は2人と接したのですが、全部では6人利用しているという事でした。

○**太田左恵子委員** 7月12日南小に行き、健康オリエンテーリングを視察して来ました。1～6年生が28班に分かれ、子どもたちが作ったゲームを行いながら運動と食について学ぶというものでした。食だと、食材を知らないと食べ物に興味湧かない、食べ物に興味湧かないと食を大切にする思いが湧かないということで、例えば目隠しをして臭いでなんの食材か、触って何の野菜か、もっと食材について知りたいと思えるようないいゲームをしているなどと思いました。運動についても、ゲームの中で、身近なもので色々な運動ができ、アイディア次第で楽しいね、と学校全体を使って色々なゲームを午前中かけて行い、この取組は子どもたちも楽しいと感じさせることが大事なので、いい取組だなと思いました。また、最初に全校生が集まり「南っ子体操」をノリノリで行っており、子どもたちのやる気や楽しさ、意欲を引き出す素晴らしい取組と感じました。

この健康オリエンテーリングを毎年1回やるように昨年からはまったようですが、年1回だとあまり身に付かないので、せっかくの良い取組なので出来たら2回以上経験させ、南小に限らず二本松市全域に広めていけたら素晴らしいと感じました。

なお、二本松市全体で100人くらい朝ご飯を食べて来ない子がいるということで、全体の割合では一部ですが、朝ご飯を食べて来られない子に対し、市で改善してあげられると良いと思いましたので、何かできないか、思い切ったことをした方が良いのではと感じました。また、家で朝・昼・晩、何を食べたか、子どもたちに書かせますが、これは何かに活用するのか、それを知りたいと思いました。

○**学校教育課長** 私見では栄養のバランス、偏食が無いかのバロメーターになると思いますが、後ほど確認し報告したいと思います。ただ、食育の中で食事のバランスについて指導しており、学びの振り返りとして、子どもたちの食事の自己評価として活用させていただいていると思います。

○**教育長（渡辺）** 報告ありがとうございました。貴重な資料ですので、学校にフィードバックしながら、今後の取組みに有効に活用させていただきたいと思っています。

それでは、つづきまして「4 第9回二本松えほんフェスティバルの開催結果について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○**教育長（渡辺）** 事務局からの説明が終わりました。今回初めて参加しましたが、子どもたちより大人が楽しみに参加していたという印象でした。子どもたちももちろん、絵本や色々なコーナーに参加して、子どもたちも大人も楽しいだろうなと感じました。読み聞かせ団体も4団体が、読み聞かせや本の紹介を工夫しながら行っており、今後も続けて欲しいと感じました。

よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○**教育長（渡辺）** それでは、続きまして「5 第77回福島県総合スポーツ大会地域スポーツ大会県北地域大会の結果について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○**教育長（渡辺）** 事務局からの説明が終わりました。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○**教育長（渡辺）** それでは、続きまして「6 二本松市公德心高揚運動推進協議会総会の開催について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○**教育長（渡辺）** 事務局からの説明が終わりました。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（渡辺） それでは、続きまして「7 二本松歴史館企画展「加藤明利と二本松」の開催結果について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 事務局からの説明が終わりました。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（渡辺） それでは、続きまして「8 二本松市の文化行政について」事務局より説明願います。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 事務局からの説明が終わりました。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（渡辺） よろしいでしょうか。では、以上で教育長報告を終わります。

つづきまして、「6 提出議案」に移ります。「議案第18号 二本松市教育事務点検評価検証委員会委員の委嘱について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 説明が終わりました。委員の皆様からのご意見ご質問等お願いいたします。

（「なし」の声あり）

○教育長（渡辺） 意見が無いようですので「議案第18号 二本松市教育事務点検評価検証委員会委員の委嘱について」原案のとおり決することよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（渡辺） ありがとうございました。ご異議なしと認めます。「議案第18号 二本松市教育事務点検評価検証委員会委員の委嘱について」原案のとおり可決されました。

次に「議案第19号 令和7年度使用教科用図書の採択について」は、9月1日以降福島県教育委員会で公表することとなっており、それまでは公表できない案件ですので、これ以降は秘密会としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（渡辺） ご異議なしと認め、「議案第19号 令和7年度使用教科用図書の採択について」は非公開で実施する秘密会とすることに決しました。

（以下、秘密会）

○教育長（渡辺） 「議案第19号 令和7年度使用教科用図書の採択について」原案のとおり決することよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（渡辺） ありがとうございます。ご異議なしと認めます。「議案第19号 令和7年度使用教科用図書の採択について」は原案のとおり可決されました。

つづきまして「議案第20号 教育委員会関係規則の制定について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 説明が終わりました。委員の皆様からのご意見ご質問等願います。

（「なし」の声あり）

○教育長（渡辺） 意見が無いようですので「議案第20号 教育委員会関係規則の制定について」原案のとおり決することとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（渡辺） ありがとうございます。ご異議なしと認めます。「議案第20号 教育委員会関係規則の制定について」原案のとおり可決されました。

つづきまして「7 協議事項」に移ります。「1 次期教育委員会の開催日程について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

○教育長（渡辺） 事務局の説明が終わりました。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（渡辺） それでは、よろしくお願いいたします。

最後に「2 その他」ですが事務局より何かありますか。

○教育総務課長 7月12日山形市で開催されました東北六県委員教育長研修会について、欠席したところではありますが、研修資料について入手できましたので資料として配付させていただいております。後ほどご覧いただければと存じます。

○教育長（渡辺） 以上説明がありました。その他、皆さまからございますか。

○佐藤英之教育長職務代理者 東京書籍ライブラリのパスワードが変更されたのか、安達中学校で閲覧できない。なぜ閲覧できなくなったか、確認方法が分かれば教えて欲しい。

○教育長（渡辺） 後ほど確認させていただきます。

○太田左恵子委員 今回委員会とは関係ないことですが、あと2ヶ月半でちょうちん祭りとなります。結婚後ずっとちょうちん祭りを見て来ましたが、最近楽しいだけではないということが分かりました。ちょうちん祭りを支えるため、七町の方がどれだけ苦勞しているかということをひしひしと伝わってきて、昔は若連も小若も入れ替わりで参加していたのが、最近は同じ人が同じ仕事を続けている、同じ子どもが太鼓をたたき続けている。明らかに人手が足りない。

ちょうちん祭りの伝統・格式など調べれば調べるほど、なんてすばらしいものを二本松は抱えているのか、と感じている。ちょうちん祭りは教育にも生かせるし、二本松の魅力でもある。どうやったら次世代につなげられるか、持続可能なものにするか、文化課だけではなく、教育委員会も全体で、学校教育でも考えていかななくてはならないではないか、何か、教育委員会でも支えるために変わらなくてはならないし、話し合いもしなくてはならない、本気を出さないといけない時が来ていると感じます。関健至委員から生の意見をいただければと思います。

○**関健至委員** 子どもの人数が減っているというのはあります。お祭りと言っても、木幡の幡祭りや針道の暴れ山車等、色々な地域にありますので、一概にちょうちん祭りだけ、というのは大変かなと思います。ただ、自分もお祭りがあるから戻ってきたということがありますので、地域のお祭りを大切にして、人口流出を防ぐために、教育の中で子どもたちがお祭りに触れる機会を増やしていくことが大切なかなと思います。七町のお祭りでも、若連が子どもたちを育てる、地域は地域で育てる、という所があるので、七町の太鼓や石井の七福神等、守るためには学校で教える、間口を広げるという事をしていかないと、地域の色々な伝統が廃れていくのは悲しいので、文化課と若連会長がコラボする等して、触れ合う機会を増やしていく方法が一番良いのかなと思います。例えば太鼓教室を学校を通してやらせていただく、ということができれば良いのかなと思います。

○**佐藤英之教育長職務代理者** 学校で地域を知るということで、祭りをテーマとしてやりたい、として太鼓を借りて指導に来てもらって、定期的ではないが実施したという学校は何校かあると思います。また、小若についても七町以外からも通えれば参加して良いという雰囲気になり、近所の子も小若に入っている子もおります。窓口は少しずつ広がっているのかなと思います。

○**太田左恵子委員** 窓口をもっと広げるため、太鼓教室は良いですね。やったことが無いから小若入りたいけど入れない、という子もいるので、学校の中で経験して、お祭りに参加して良いんだ、という雰囲気を作れば郷土芸能も残っていくのかなと思います。もう少し積極的に学校教育に郷土の伝統に触れ合う機会を作れば良いなと思います。

○**関健至委員** 問題として夜、遅くなるので、別地域からだと送り迎え等親の負担も色々出てくるので、別地域から集まってくるというのは難しいところがあります。地域毎に色々なお祭りがありますので、それを守っていくのが大切かなと思います。

○**太田左恵子委員** 小若の子もお祭りが近くなると毎日夜、バチを持って練習に出かけていくけど、親の送り迎えの必要な子は大変です。

○関健至委員 南小・北小で太鼓の練習が出来れば良いけれど、その小学校の子どもだけではない。なかなか難しいですが、若連の方も協力してくれると思います。

○太田左恵子委員 枠を超えて触れ合えるというのは、学校と市の力なのかなと思います。

○関健至委員 木幡等他のお祭りのある地域の子どもたちまで集めてしまうと問題となってしまうというのもあると思います。

○教育長（渡辺） 大人の仕事でも人材不足と言われていますが、子どもたちも少なくなっている中で伝統芸能等を維持するというのは太田委員からも話があった通り難しいなと思います。

先月文化課でも中学校の総合的な学習で伝統芸能の学習のサポートに入っております。お祭りの維持をするのも大変だという話は聞いておりますが、その辺、文化課長からありますか。

○文化課長 各団体にお話を聞くと、ちょうちん祭りだけではなく、地域の伝統行事、伝統芸能の担い手不足が叫ばれており、各団体頭を悩ませているのが実情です。ましてやコロナ禍があり活動が出来ず、そのまま活動休止している無形民俗文化財の団体も出てきております。先日関奈央子委員には岩代中学校にコミュニティスクールでご覧いただきましたが、岩代中学校では無形民俗文化財の保存団体の方が学校に入り、郷土学習とコミュニティスクールの面から、子どもたちに地元の人たちから伝統芸能の学びを継続的に行っていただいております。

先程お話のあったとおり、ちょうちん祭りの方も各学校の郷土学習の中で、上手くすり合わせができるのであれば、担い手不足を解消するのに有効なのかなと思います。また、各お祭り・伝統芸能ですと、地元に残る家主の長男だけが参加できるお祭りや女性が参加できないお祭り、伝統芸能がありますが、人数が少なくなっているのも、そのようなしきたり、枠を撤廃し、受け皿を広げていくという各団体での判断や検討も必要かなと思います。

また、例えば木幡の幡祭りに参加する方が、興味があればちょうちん祭りにもフォローに入って一緒に盛り上げていく、という相互協力関係も可能かなとは思いますが、具現化するには各団体の受け皿等の関係もあると思いますので、徐々にその辺を調整し存続できるように、または、子どもたちを中心に担い手不足の解消に向け展開できれば良いのかなと感じております。

○太田左恵子委員 ふと思ったのですが、私の子どもが大学で学んでいる教授が全国学力テストの分析に関わる先生なのですが、もしかすると、地域の伝統や郷土芸能というのは人間力を高めるのものすごく効果的なものなのではないか、と言って、私の子どもにお祭りについて研究するよう言われている。お祭

りを過去のものにせず、意外と良い効果があるものなのかなと思い、二本松は良いお祭りがたくさんある地域なので、しっかり話し合って、市が引っ張っていく大切な存在だと思うので、ぜひ、お願いします。

○教育長（渡辺） 二本松市はふるさと教育や郷土愛を育む素材がたくさんあると思います。その学習を通して、自分の生き方を見つめる良いきっかけとなるものがたくさんあると思います。お祭りも根源を調べてみると実に奥深いものがあり、日本は農耕からスタートして、飢饉や天災があった時に神様の力を借りる、そのためお祭りが始まった、ということを学習すると、結局自分がより良く生きるために先人の知恵や工夫が込められたものなんだ、では自分はこれからどう生きていくのか、より良い自分の生き方に繋がっているのかな、皆で協力しながら生きていくときに、昔のお祭りもきっと皆で力を合わせて何かをやっていないと生きていけなかった、と考えると、今は豊かな時代ではあるが皆で力を合わせていかないと生きていけない時代になってきているのかな、そんなことを含めながら、凄く深いものがあるなと思っており、そこを含めながら各校のふるさと教育を充実させていきたいと思っております。今日貴重な意見もいただきましたので、校長会等でも話しながら呼びかけていきたいと考えております。貴重な意見ありがとうございました。

その他ございますでしょうか。

（「なし」の声）

○教育長（渡辺） 無いようですので協議事項を終わります。

以上で、本定例会の日程は全部終了いたしました。

これをもちまして、令和6年二本松市教育委員会7月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

（宣言 午後4時22分）